

トラック輸送情報（平成22年5月分）

平成22年8月18日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中野、久島、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

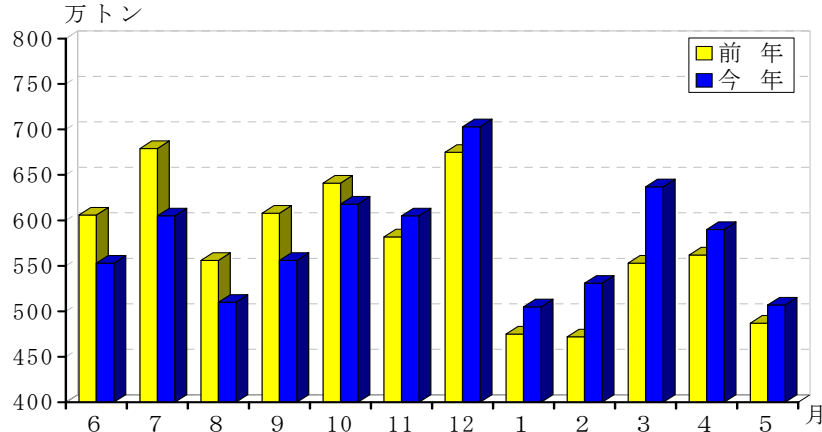
調査対象27社の本月の輸送量は、5,067,009トンで、前月と比べ総輸送量が約83万トン減少したため、前月比85.9%（季節調整済み98.0%）となり、前年同月との比較では、約20万トン増加したため、前年同月比104.1%の実績であった。

なお、平均稼働日数は22.5日で、前月と比べ2.1日減少し、前年同月と比べ0.1日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、225,200トンで、前月と比べ約1万5千トン減少したため、前月比93.9%となり、前年同月との比較では、約1万トン増加したため、前年同月比104.6%の実績であった。

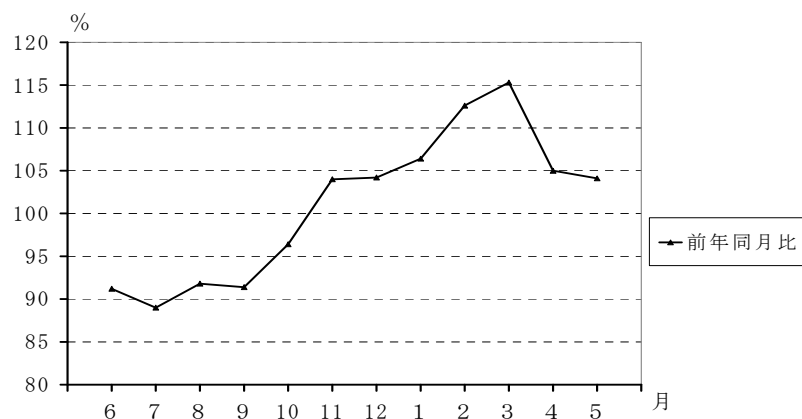
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 輸送トン数の推移



(図1-2) 輸送トン数の前年同月比



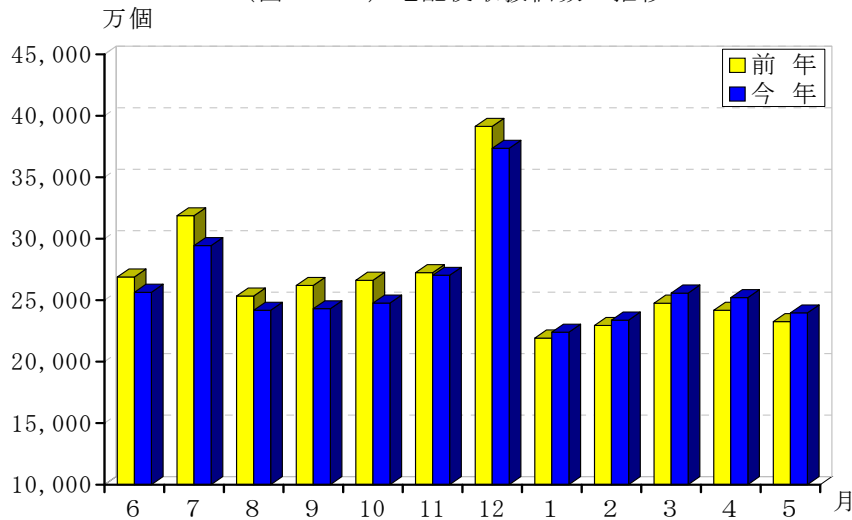
(2) 宅配便の概況

調査対象 18 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、239,665 千個で、前月と比べ 約 1,241 万個減少したため、前月比 95.1% (季節調整済み 99.5%) となり、前年同月との比較では、約 709 万個増加したため、前年同月比 103.1%の実績であった。

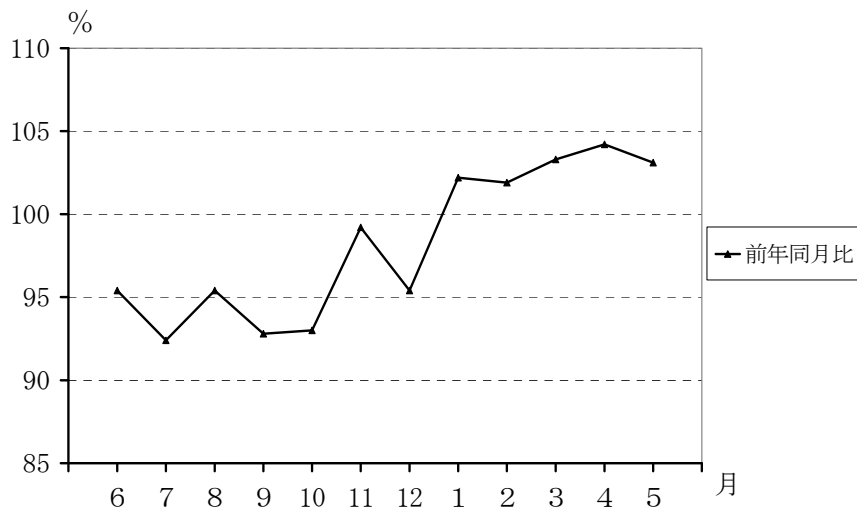
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 22 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、18 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、ゴールデンウィークに伴う稼働日数の減少等により、ほぼ全ての品目で輸送量が減少した。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減がほぼ全ての品目に共通してみられたほか、「化学工業品」、「繊維工業品」、「日用品」等では倉庫から出る貨物減や季節的需要減等も要因となっている。地域的には、「日用品」が全国的に減少したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」が東北、関東地方、中部地方、近畿地方等で、「その他 (宅配便、百貨店配送品)」が東北、関東地方、中国等で減少している。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物増により「機械」で輸送量の増加がみられた一方で、倉庫から出る貨物減や不況の影響等により「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」等で輸送量が減少している。地域的には、「金属製品」、「機械」が近畿、中国等で増加がみられた一方で、「食料工業品」、「日用品」が東京、関東、北陸信越、近畿、中国等で、「農水産品」が北海道、九州で、「化学工業品」、「その他 (百貨店配送品)」が神奈川、関東等で減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因	
	著 増	増	変 らず	減	著 減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	2	12	2	1	農産品	4	
	金属製品			13	8		その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方	4, 8
	機 械			11	8	2	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	化学工業品		1	11	10		合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	繊維工業品		1	14	7		織物	東北、関東地方、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	食料工業品			9	8	3	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7
	日 用 品			6	13	3	書籍・印刷物、玩具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 8
	そ の 他		1	10	9	2	宅配便、百貨店配送品	東北、関東地方、中国、全国	2, 4, 5, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	12	3	2	野菜、青果物	北海道、九州	4
	金属製品	2	2	14	3			愛知、近畿地方、中国	9
	機 械	2	4	13	1	1	機械部品	北陸信越、近畿、中国	4
	化学工業品	1	2	13	6		その他の化学工業品	神奈川、関東、愛知、大阪	4, 7, 9
	繊維工業品	2	1	13	6		織物	愛知 東北、関東地方、北陸信越、近畿	7, 9
	食料工業品		1	10	8	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東京、関東、北陸信越、近畿地方、中国、四国、福岡	4, 7, 9
	日 用 品		3	10	7	2	書籍・印刷物、衣服、玩具	東北、関東地方、北陸信越、近畿、中国、九州	5, 7, 9
	そ の 他	1	3	10	4	4	百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2, 4

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市県を含む場合はそれらをのぞく府県、九州(沖縄を含む))]単位である。なお、地方運輸局に6大都市県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 790 社／調査対象事業者数 1,088 社）の輸送量は、前月比 95.5%、前年同月比 104.7%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	95.5%	104.4%	90.0%	89.9%	90.4%	94.0%	91.9%	94.2%	98.5%	93.5%	92.7%
前年同月比	104.7%	104.0%	101.6%	102.4%	105.0%	109.6%	100.7%	112.1%	104.6%	104.4%	102.5%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 104.4%、対前年同月比 104.0%であった。品目別には、公共工事、大型工事の活発化に伴う建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の石油製品」、「日用品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、夏場に向けて次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 90.0%、対前年同月比 101.6%であった。品目別には、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「野菜・果物」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の石油製品」、「取り合せ品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 89.9%、対前年同月比 102.4%であった。品目別には、季節的需要減等により「動植物性飼・肥料」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「食料工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 90.4%、対前年同月比 105.0%であった。品目別には、景気回復の兆し等により「繊維工業品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 94.0%、対前年同月比 109.6%であった。品目別には、季節的需要増により「日用品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「砂利・砂・石材」、「紙・パルプ」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 91.9%、対前年同月比 100.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「機械」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 94.2%、対前年同月比 112.1%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「その他の製造工業品」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「その他の農産品」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「砂利・砂・石材」、「食料工業品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 98.5%、対前年同月比 104.6%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」、「木材」の輸送量が増加した。一方、不況の影響により「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 93.5%、対前年同月比 104.4%であった。品目別には、夏季向けのエアコンの配送等に伴う季節的需要増等により「機械」等の輸送量が増加した。一方、公共工事の減少等に伴う建設関連の需要減等により「セメント」、「その他の製造工業品」、「廃棄物」等の輸送量が減少したほか、宮崎県で発生した口蹄疫の影響により「畜産品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 92.7%、対前年同月比 102.5%であった。品目別には、商社・問屋からの貨物増により「紙・パルプ」の輸送量が増加した。一方、輸出入の貨物減により「取り合せ品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局	北	東	関	北信	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	陸	越	部	畿	国	国	州	縄
1. 穀	増					1							1
	減	1	1			1			1			1	5
2. 野菜・果	増			1		1					3		5
	減			2					2	1	5		10
3. その他の農産品	増	1	1						3	1			6
	減								1				1
4. 畜産品	増	2						1	1				4
	減	1	1						1	1	2		6
5. 水産品	増	1										1	2
	減					1	1						2
6. 木	増	1	1			1				1		1	5
	減	4	2			1			1				8
7. 薪	増												
	減												
8. 石	増	2											2
	減	1				1							2
9. 金属	増					1					1		2
	減												
10. 砂利・砂・石材	増	12	1	1					1		2		17
	減	7				1	2		4		5		19
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1								2		4
	減		1			1	1				1		4
12. 鉄	増	2	2					1	3		1		9
	減	1	1	1	1			1	2			1	8
13. 非鉄金属	増												
	減							1					1
14. 金属製品	増	2				2		1	3				8
	減	3	1	1	2			3	1	1	2		14
15. 機	増					3	1				3	1	8
	減			1	2	1	2	3			2	1	12
16. セメント	増	6				1			1		3		11
	減	3	2		2						6		13
17. その他の窯業品	増		1					1	1				3
	減		1	1					1				3

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増											
	減	2	2	1	1							6
19. その他の石油製品	増	1								1		2
	減	3	2	1	6		1	2	1	1		17
20. コークス・その他の石炭製品	増											
	減											
21. 化学薬品	増									2		2
	減				1	1						2
22. 化学肥料	増	1						1		2		4
	減				1	1				1		3
23. その他の化学工業品	増		1					3	1			5
	減	1				1	1	3				6
24. 紙・パルプ	増	2	1					1		1	1	6
	減	1	1	1	2	1	1	1	1	1		10
25. 繊維工業品	増				1				1	1		3
	減											
26. 食料工業品	増		2	1	1		4	3	1	2		14
	減	2	2	2	2		2	5		2	1	18
27. 日用品	増	1	1	1		1		3		2		9
	減	4	2	1	1		1	3		2		14
28. その他の製造工業品	増		1			1	1	2		1		6
	減							1	1	7		9
29. 金属くず	増										1	1
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2										2
	減	3	1	3						2		9
32. 廃棄物	増	1			1			1		2		5
	減	1	1							3		5
33. 輸送用容器	増								1			1
	減	1			1							2
34. 取り合せ品	増	1					1				1	3
	減		4			1		4		3	2	14
35. その他	増		1							1		2
	減	1	2	3	1		2	6	1	1	1	18